

岩見沢市地域福祉計画(案)～第4回岩見沢市地域福祉計画策定委員会(2/28)からの主な変更内容～

項目	ページ	変更内容	変更理由
文章表現	—	(全体的な字句修正) 例:おります→います、町内会・自治会→町会・自治会、繋ぐ→つなぐ、力をいれて→力を入れて 等	今までの各委員からいただいた意見の反映漏れ等の反映
第3章 1 基本理念 副題及びリード文	P.33	(変更前) ～だれもが、助け合い、支え合いながら、 健康で明るく 暮らせるまちを実現します～ <u>子どもから高齢者の誰もが</u> 、地域で助け合い、支え合いながら、 健康で明るく 充実した生活を送ることができるまちづくりを目指します。 (変更後) ～だれもが、助け合い、支え合いながら、 明るく元気に 暮らせるまちを実現します～ <u>子どもも高齢者も、障がいのある人もない人も、市民の誰もが</u> 、地域で助け合い、支え合いながら、 <u>一人ひとりが自分らしく、健康で明るく元気に</u> 、充実した生活を送ることができるまちづくりを目指します。 ※併せて、同様の表現が記載されている、P.3、4、34、50についても修正	第4回策定委員会での議論を踏まえての修正
第4章 個別施策⑥ 子どもの貧困対策の強化	P.38	(変更後) 保育所や幼稚園、学校、地域において、子どもたちを取り巻く大人が、さまざまな立場から、子どもたちの抱える問題を早期に発見し、各種手当の支給や助成制度による経済的支援及びボランティアによる支援活動、学習機会の提供や相談体制の充実などにより、貧困の連鎖を断ち切ることができるよう、市や学校、事業所などの各機関が連携して子どもとその家庭の支援を進めます。 ※下線部を追記	第4回策定委員会での議論を踏まえての修正
第4章 基本施策4 高齢者等の孤立の防止	P.39	(変更後) さまざまな世代の人々が、互いに役割を持ち、関わり合い、支え合って生きるという連帯意識の普及に努めるとともに、高齢者が、進んで地域の活動に関わっていけるよう、生きがいづくりや、地域での交流への参加を支援するなど、地域全体で高齢者を支え、見守ることのできる地域づくりを支援します。 また、高齢者自身の自立の意識を高め、高齢者が相互に見守り合い、支え合うことのできる地域づくりが推進されるよう働きかけていきます。 ※全体的に見直した上で、下線部を追記	第4回策定委員会での議論を踏まえての修正
第4章 個別施策⑫ 除雪支援の推進	P.42	(変更前) 福祉除雪 → (変更後) 除雪支援 ※併せて、同様の表現が記載されている、P.40についても修正	「福祉除雪」という言葉は市民に広く浸透している表現ではないため
資料編 委員それぞれの思い	P.58～63	文末表現の修正(「である」→「です」等)	全体的な体裁の統一